

## 事業計画書（地域協働のプラットフォーム形成事業）

年度		提出年月日	年 月 日
事業名	〇〇〇〇事業		
事業実施主体	〇〇町内会		
代表者	〇〇 〇〇	連絡責任者	代表者と異なる場合のみ記載
設立年月	〇〇〇〇年〇月	構成員数	〇人
連絡先	電話番号、メールアドレスを記載		

### 1 事業計画の概要

事業期間	令和〇年 〇月 〇日 ~ 令和〇年 〇月 〇日					
地域の現状と課題	<p>地域の現状、課題は何でしょうか。</p> <p>〇〇地区では〇〇の状況にあり、〇〇が課題となっている。そこで、関係する〇〇団体や住民とプラットフォームを形成し、課題となっている〇〇の解決を図ることを目標とする。</p>					
目指す将来の姿	<p>協働のプラットフォームの形成を通じて地域をどのようにしたいと考えているか記載してください。</p> <p>地域の〇〇を継続していくことで、地域への愛着を深め、また、関係人口の創出を図る。</p>					
協働のプラットフォーム形成の概要	(1)対象地域	小学校区、中学校区、旧町村区など地域の名称を記載してください。 〇〇地区				
	(2)連携する団体・企業等	事業実施主体と連携する（現時点で想定される）団体等を記載してください。 〇〇（NPO）、〇〇（ボランティア団体）、〇〇（事業者）、地域住民				
	(3)活動拠点・活用する施設等	〇〇集会所				
	(4)プラットフォームのイメージ図（任意様式で作成し添付）	現時点で想定されるプラットフォームのイメージを記載してください。 別紙のとおり				
事業内容	<p>どのような内容の事業を、どの団体等が中心となり、どのような方法で行うのかなど、具体的に記載してください。</p> <p>〇〇町内会を中心に、ワークショップを複数回実施し、〇〇地区の課題やニーズの見える化を行い、必要とする団体を洗い出す。さらに、課題やニーズの解決のため、実現可能な事業について精査し、試験的に〇〇事業を実施し、協働のプラットフォームを形成するための意識醸成を行う。</p>					
事業費等 （※継続事業の場合、前年度欄は実績額を記載してください。）	補助金を要望する年度		〇年度	〇年度	〇年度	
	事業費（千円）（a）		〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
	財源内訳	自己財源（b）	会費	〇〇	〇〇	〇〇
			参加費	〇〇	〇〇	〇〇
	補助金（c）		〇〇	〇〇	〇〇	
補助金依存率（c/a）		〇〇%	〇〇%	〇〇%		

		月	実施内容
実施内容		5月	協議1 キックオフ・課題共有（協働のワークショップ、「地域でこうしたい」の共有）
		7月	協議2 課題共有の話し合い（必要な団体の参加）
		9月	協議3 将来像（ビジョン）を描く（共通目標の見える化、若者団体の参加）
		11月	協議4 スモールアクション（2年目に向けた事業の検討）
		1月	協議5 体制の明確化（プラットフォームの形成、役割の確認）
		3月	協議6 今年度の振り返りと次年度に向けて（今年度の効果検証（アンケート等）、次年度のスケジュール、予算等の確認）
		3月	実績報告書の提出
	補助金を要望して実施する年度の事業計画	○年度	〇〇の課題解決のため、協働の意識醸成のためのワークショップ、話し合いの場の形成、地域課題やニーズの見える化、課題解決の実現のための事業の精査を実施する。
○年度		1年目で洗い出した地域課題の解決の実現のため、地域づくりの計画を策定する。また、試験的に〇〇を対象に、〇〇事業を実施する。実施後、内容の評価、改善の検討を行う。	
○年度		2年目で実施した内容を踏まえ、新たな必要な団体、取組を精査し、改善した〇〇事業を行う。また、4年目以降、自立した運営を行うために、地元企業に対しても積極的にPRし、事業の理念やメリットを理解していただき、協賛金などを継続して受けられる関係づくりをする。	
補助金終了年度以降の事業計画	<p>補助金終了年度以降、どのような事業を予定し、どのようにして資金を確保するかなど、補助金終了年度以降も事業を継続するために、今年度取り組む予定のことを記載してください。</p> <p>継続して資金を確保するため、〇〇作成や〇〇により事業の周知を図る。地元企業に対しても積極的にPRし、事業の理念やメリットを理解していただき、協賛金などを継続して受けられる関係づくりをする。さらに、自主財源として、〇〇の販売による収益化を目指す。</p>		

## 2 事業の効果等

(1)まちづくりへの効果	<p>事業の実施により、地域のまちづくりにどのような効果があると考えていますか。</p> <p>参加者は、〇〇を学ぶことができ、〇〇の課題解消につながる。</p> <p>また、ボランティア参加者にとっては、〇〇が期待できる。</p> <p>さらに、〇〇地域にとっては、〇〇との新たな交流が生まれ、地域経済の活性化が期待できる。</p>
(2)前年度に行った事業の効果と課題	<p>（初めて行う事業の場合は記載不要）</p> <p>〇〇を実現したいという意見がでたため、〇〇団体とのつながりを形成する必要がある。</p> <p>〇〇は、地域の負担が大きく、ボランティアの活用など、負担のない範囲でできる方法を再検討する必要がある。</p>
(3)前年度から進展した部分	<p>前年度より進展している点を記載してください。</p> <p>今年度は新たに〇〇や〇〇との連携を図り、プラットフォームの充実を図る。</p> <p>地域課題の見える化をもとに、地域づくりの計画を策定し、将来的なビジョンの共有を図る。</p>

## 3 事業の目的達成度を把握するための指標及び数値

項目	左の目標及び効果を把握するための指標名および数値
目標の達成度を把握するために適当な数値（活動指標）	指標名（（例）会議回数、会議に参加した団体数 など）
<input type="checkbox"/> 順調に達成された場合の数値	（例）会議の回数〇回以上
目標の達成度を把握するために適当な数値（成果指標）	指標名（（例）参加者が感じる協働の重要度（アンケート） など）

順調に達成された場合の数値

(例) 「重要」又は「やや重要」と回答した人数が70%以上